

生徒会活動の大切な役割

いよいよ前期も終わりに近づいてきました。今日は後期の生徒会執行部を選ぶ立会演説会と投票が行われました。理想を掲げ、全校の先頭に立って頑張ろうとする姿は、北中が目指す「主体性」そのものですね。選挙は一つの節目ですので、生徒会について書こうと思います。

生徒会の活動としては、体育大会合唱祭を初めとする「行事の運営」や、アルミ缶回収や当番活動などの「日常活動の充実」が挙げられます。しかし、もう一つ大切な役割があると私は思います。それは何だと思えますか。この役割が機能すると、学校の秩序が生徒によって作られます。とても大切な役割です。

それは「学校生活上の問題発見と改善」です。簡単に言うと、生活の中の気になる点に自分たちで気づき、それを改善するように取り組むことです。それを教師がやるのと生徒がやるのでは、意味も意義も全く違います。他律（周りの人にやってもらうこと）と自律（自分たちの力でやること）の違いです。後者は「自治」とも言えます。社会科で学習しますよね。まさにそれです。

千数百人の生徒が在籍するC高校。電車通学している生徒も多く、通勤通学列車から多くの生徒が下りてきます。その列は長々と続き、道を横断するにも列が途切れません。歩行者優先で停車した車は、進むことができなくなってしまうほどです。（中学生のみなさんが登校してからの光景ですので、見たことのない人が多いかもしれません。）

そんな状況に問題をみつけたC高校では、通学者の列を整理して、車にも迷惑かけないように取り組んでいます。それをやっているのが生徒の代表者たちです。黄色の旗をもち、通学者の列を遮ります。止まってくれた車には丁寧に頭を下げます。その横には職員も立っていますが、実際に整理しているのは生徒たちです。

職員がそれをやるのではなく、生徒たちがやっていることに私は大きな意味があると思います。これが生徒会活動の大切な役割の一つです。自浄力（自分たちの問題を自分たちで解決する力）とも言うべきものですね。

昨日の昼の放送で、生徒会長のY君が、北中の今の問題を投げかけ、改善を呼びかけました。これを受けて、どの立場の仲間が、どのように動くべきなのでしょう。生徒会長一人では大きな波は作れません。賛同する者、協力する者が現れて全校的なうねりとなります。さあ、北中ではそのうねりができるのでしょうか。

（九月二十四日 記）